

令和５年度 第１回 東成区区政会議（子ども・教育部会）

1 開催日時 令和５年５月29日（月） 19時00分から20時08分まで

2 開催場所 東成区役所 301会議室

3 出席者の氏名

【委 員】

大野 弥生（部会長）、竹東 正彦（副部会長）、内山 千夏、四方 徹、
橋本 輝枝、森田 吉彦、山本 弥生

【東成区役所】

御栗 一智（東成区長）、平田 忠弘（東成区副区長※）、
仲埜 康代（教育・地域支援担当課長）、世古 美弥子（児童・保健担当課長※）、
岸野 伸浩（総合企画担当課長）、遠藤 裕介（総合企画担当課長代理）、
嶋村 研一（地域支援・防災担当課長代理※）、
洲崎 記行（児童・保健担当課長代理）、
村田 三津子（教育支援担当課長代理※） ※オンライン出席

4 委員に意見を求めた事項

- ・令和４年度東成区運営方針の振り返り等について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○遠藤課長代理 皆様、本日はお忙しい中、東成区区政会議子ども・教育部会に御出席を賜りまして、ありがとうございます。

ただいまから令和５年度第１回東成区区政会議子ども・教育部会を開催いたします。

私は、東成区役所総務課総合企画担当課長代理の遠藤でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

なお、本日の部会につきましては、感染対策の一環として一部オンラインでの開催とし、副区長を初め、一部の職員はオンラインで参加させていただきます。

それではまず、冒頭に区長の御栗より御挨拶させていただきます。

○御栗区長　皆さん、こんばんは。区長の御栗でございます。本日は大変お忙しい中、また、雨の本当に足元が悪い中でお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日が区政会議の子ども・教育部会の1回目という形になりますので、よろしくお願いを申し上げます。

こちらの部会では、学校であるとか、教育支援、子育て分野につきまして、御意見や御提案をいただく会議でございます。今回の議題は、前年度事業の振り返りということになっております。昨年度の事業の課題も含めて御議論いただければと思います。いただいた御意見、御提案につきましては、今後の区政運営の参考にさせていただきますので、ぜひよろしくお願いいたします。

お手元の参考資料2の方で、令和4年度第1回、第2回の区政会議でいただいた質問、意見に対する対応状況の資料というのをつけさせていただいております。1月の区政会議の場で所管がいただいた宿題の答えということになっておりますので、そのあたりもご覧いただきたいと思います。皆さんからいただいた御意見一つ一つにつきましてしっかりと取り組んできたというふうに思っておりますので、そのあたりも見えていただいて、御意見もいただければというふうに思います。

また、全体会議の方は6月14日水曜日ということで予定されておりますけれども、そちらの方は40名弱という大人数、また、限られた時間になりますので、なかなか御発言も難しいと思いますので、ぜひこの場で皆様の忌憚のない御意見をいただきたいというふうに思っておりますので、ぜひどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、簡単ではございますが、開会の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○遠藤課長代理 本日の子ども・教育部会の開催状況でございますが、委員定数 12 名中 7 名の委員の御出席をいただいておりますので、本部会が有効に成立している旨、御報告申し上げます。

それでは、資料の確認をさせていただきます。なお、本日は当部会に関係のある資料のみ使用とさせていただきます。

まず、事前にお送りさせていただきました資料として、本日の次第、資料 1 として、令和 4 年度東成区運営方針市様式、資料 2 として、令和 4 年度東成区運営方針課題別取組実施状況、資料 3 として、全体会欠席者の方用の議題に対する質問・意見票です。

次に、参考資料の確認をさせていただきます。

参考資料 1 は、名簿です。参考資料 2 は、令和 4 年度第 1 回、第 2 回の区政会議にいただいた質問、意見に対する対応状況となります。今年 1 月の区政会議で委員の意見が区政の施策にどれだけ反映されているのか報告をいただきたいとの御意見をいただいておりますので、昨年度、今年度での実施状況の欄を追加しております。御参照いただくとともに、御意見、御質問等ございましたら、区役所からの説明の終了後によりしくお願いいたします。参考資料 3 のイベントカレンダーは、5 月 18 日現在の予定となっております。

当部会では資料 2、令和 4 年度東成区運営方針課題別取組実施状況を中心に説明をさせていただきます。

また、机上には配席図と会議終了後に御提出をお願いするアンケートを配付しております。

資料は以上となりますが、不足はございませんでしょうか。

本日は令和 5 年度最初の区政会議子ども・教育部会となります。区政会議は区民の方々が区の行政運営に参画する仕組みです。区長が区の行政運営に当たって計画段階

から幅広い分野の区民の方々の意見を伺い、施策を推進していくこととしております。

また、区政会議では、テーマに基づいて3つの部会を設けており、この子ども・教育部会では教育環境の整備、子育て支援について専門的な意見交換を行うこととしております。

それでは、委員の皆様を紹介させていただきます。本日は時間の都合がございますため、資料に基づきまして、名簿の確認で出席者の皆様の紹介に代えさせていただきます。

では、事前送付資料がございます、参考資料1、3ページをご覧ください。子ども・教育部会の委員の皆様です。

続きまして、本日机前にお配りしました配席図をご覧ください。本日欠席の委員につきましては、配席図の下部に欠席と記載しております。なお、志知委員につきましては、本日急遽の欠席となっております。

続きまして、区役所職員の紹介です。こちらも先ほどと同じく、配席図の確認をもちまして紹介に代えさせていただきます。

続きまして、会議の進行上の注意事項を申し上げます。まず、当区政会議の部会は、条例により公開することとなっておりますので、御了承をお願いします。

区役所で会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めております。広報担当者によります会議中の撮影につきましては、御了解をいただきたいと存じます。

撮影した写真は区の広報で使用させていただきますので、御了承願います。また、本日の会議内容は後日、議事録を公開する予定でございます。

続きまして、新型コロナウイルスに関する御協力をお願いします。感染拡大防止の観点から、会場内の換気として扉の開放等を行っておりますので、御理解いただきますようお願いいたします。なお、会議中、体調が優れなくなった場合等は、御遠慮なくお申し出ください。

最後に、会場にお越しの皆様をお願い申し上げます。携帯電話は電源をお切りいた

だくか、マナーモードにさせていただきますようお願いいたします。また、会場内での通話は御遠慮いただきますよう、併せてお願いいたします。

それでは、以降の進行を大野部会長、竹東副部会長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○大野部会長　皆さん、こんばんは。部会長の大野です。それでは、竹東副部会長とともに頑張って務めてまいりたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

それでは、令和５年度の第１回目の子ども・教育部会の議事に入ります。この部会は、教育環境の整備、子育て支援の分野について、皆様方が意見や提案を述べる会議ということになっています。皆様方から忌憚のない御意見や提案をしていただき、今後の区政運営の方向性について考えていく大切な場となりますので、できるだけ前向きな御意見をいただき、有意義な会議にしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

早速ですが、本日の議題について、区役所より説明を受けていただきたいと思います。議題、令和４年度東成区運営方針の振り返りについて説明していただき、その後、委員の皆様の御意見や御質問等をお聞きしていただきたいと思います。

なお、御意見や御質問をお聞きする時間では、前半１５分程度を勉強会として議事録に残さない自由な意見交換が行える時間を設け、その後、部会としての意見をまとめていきますので、御協力よろしくお願いいたします。

それでは、説明をお願いします。

○仲埜課長　教育地域支援担当課長の仲埜と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、私の方から教育環境の整備について説明させていただきます。

資料２、２６ページの方を開けていただけますでしょうか。

２６ページ、具体的取組み２－１－１、学校等との連携強化について御説明させていただきます。

良好な教育環境のもと、子どもたちに健全な生活環境を身につけてもらい、学力等の向上を図るために、家庭、学校、地域が連携して取り組む必要があります。そのために区長と学校園長との意見交換会や、教育会議などの実施を通し、学校園の近況等を共有しながら、区役所と学校が連携して各種事業を実施するなど、特色ある学校づくりに向けて学校が必要とする支援をできるように努めてまいりました。

令和4年度の具体的な取組みといたしましては、学校園長と教育施策について意見交換を行うなど、区長との意見交換会を計16回、小学校11回、中学校3回、幼稚園2回となっております。あと教育行政連絡会を6回、小学校3回、中学校3回、開催したほか、各小中学校の保護者代表の皆様にご意見を伺う東成区教育会議を2回開催いたしました。

続きまして、国際理解推進事業について説明させていただきます。

こちらは独立行政法人国際協力機構、いわゆるJICA等と協力しながら、留学生による出前講座を3校、小学校2校、中学校1校、あと海外ボランティア経験者等により出前講座を9校、小学校8校、中学校1校、と12校で実施いたしました。

続きまして、平和学習に対する取組みです。

子どもたちが戦争の悲惨さを学び、平和の大切さについて考えるきっかけづくりするために、平和学習会を14校、小学校11、中学校3校で開催いたしました。

小学校では6年生の児童に対し、語り部による戦争体験談や戦争遺産等と収録したDVDを利用した平和学習を実施いたしました。

また、中学校、3中学校の生徒を対象にウクライナ在住の国連職員を講師に招いて、キャリア教育と平和をテーマにした学習会をオンラインで開催いたしました。

続きまして、人権啓発の取組みでございます。

憲法週間や人権週間の取組みに加えて、小学校向けのSNS等における人権啓発冊子を作成いたしました。昨年度は学校と連携し、SNS等に触れる機会が増えていく小学校低学年を対象にした漫画形式の啓発冊子を作成し、学校授業等で活用させてい

いただきました。

こちらの啓発冊子なんですけれども、3年間かけて作成しておりまして、初年度は小学校高学年、翌年が中学校、それで昨年度が小学校低学年となっております。

こちら、業績目標につきましては、区内の小中学校15校を対象にアンケートを実施いたしましたところ、学校が地域や区役所から連携や支援を感じられていると感じる学校関係者の割合及び区役所と連携した事業に満足したと感じる学校の割合は、両方とも100%ということになっております。

学校等との連携につきましては以上になります。

続きまして、27ページを開けていただけますでしょうか。

こちら、具体的取組2-1-2になります。電子書籍を利用した子どもの読書活動推進です。

区内の小中学校の読書活動を促すことにより、読書活動の定着を支援しております。こちらは令和4年度の新規事業となっておりますけれども、小学校5、6年生、中学生を対象に、電子書籍定額閲覧サービスにより、学習用端末等を利用して、いつでも読書ができる環境を整備し、子どもたちの読書活動を推進しております。

読書実績といたしましては、こちらに読書冊数と人数を記載しております。ちょっと分かりにくいと思うんですけれども、単純に計算いたしますと、1人当たり、小学校で約21冊、中学校で約9冊読んでいるという数字になります。

ただ、これはあくまで利用された数字になりますので、利用されていない方に今後いかに利用していただくかということが課題になっております。

業績目標ですけれども、本事業が児童生徒の読書習慣の定着に寄与したという目標が80%にしているんですけれども、学校での評価も若干の差がありまして、実績は60%ということになっております。

今年度はこの事業が2年目ということもあり、学校の図書館司書とも連携等を積極的に行い、読書活動の推進に努めていきたいと考えております。

続きまして、具体的取組 2-1-3、28 ページの方をご覧くださいでしょうか。

こちら、子どもたちと体験する S D G s に移らせていただきます。

ひがしなり環境・S D G s 体験フェスタにつきましては、木材製品の展示や木工体験など、体験イベントを開催し、小中学校と保護者に森の恵みや森の役割を感じてもらい、S D G s のゴールでもある森の大切さについて学習する機会としております。

昨年度については12月24日、25日に、ひがしなり区民センターで開催いたしました、1,177名、24日が622名、25日が555名ということで参加がありました。目標といたしましては1,000人以上としておりまして、目標は達成することができました。

しかしながら、こちらの事業、ちょっと今年度予算がつかなかったこともありまして、本年度は開催できませんけれども、他のイベントでS D G s や環境問題についての理解を深めることができる機会を創出していく予定でございます。

続きまして、29 ページをご覧ください。

具体的取組 2-1-4、子どもたちと体験する東成モノづくりに移らせていただきます。

昨年度はモノづくり体験フェスタにつきましては、2月18日、ひがしなり区民センターにて開催することができました。こちら、目標来場者500名に対しまして約1,000名の方に御来場いただいた形となっております。

ただ、オープンファクトリーの方はできなかったもので、今年度については工場見学も実施いたしまして、小中学生がモノづくりと企業と触れ合う機会を提供し、工場見学やモノづくりを体験することで、モノづくりの興味や関心を喚起し、将来の進路を考えるきっかけとしていく予定でございます。

以上で、教育環境整備について説明を終わらせていただきます。

○洲崎課長代理 続きまして、具体的取組 2-2-1、子育てネットワーク構築支

援事業について、児童保健担当課長代理の洲崎の方から御説明させていただきます。

資料 30 ページの方になります。

東成区は、子育て家庭が地域で気軽に相談でき、必要な支援や情報を受け取ることができる状態をめざしており、そのために、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブを実施しております。

ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブとは、ゼロ歳から6歳のお子様がおられる世帯に御加入をいただき、地域の協賛店で割引や特権を受けていただけるカードを発行することになっております。

加入時の流れといたしましては、申込みは区役所で受付を行い、カードは地区の主任児童委員さんに配っていただいております。また、配っていただくときに、主任児童委員さんより、地域の子育てサークルや支援拠点の御案内をさせていただいております。加入時にこれらの手順を踏むことで、子育て世帯と主任児童委員、子育て世帯と子育てサークル、子育て世帯と支援拠点がつながり、育児の相談をしていただいたり、お友達を作っていただきたいと思いますと思っております。

また、地域の協賛店とも顔見知りになっていただくことで、地域全体で子育てを見守るといった地域づくりが可能になるとも考えております。

新型コロナ発生以降、主任児童委員さんがカードをお渡しに各家庭を回っていただくことはできておりませんが、同様の内容を区役所の窓口の方で実施しております。

また、加入者を増やすため、広報紙で加入や店舗の勧奨を行っており、令和5年3月末現在の登録者数は2,248人、登録率は58.6%となっております。

昨年度の部会で加入率が上がらないことへの調査、分析について御意見いただきましたことから、令和4年10月末から12月末の2か月間の間に実施されました乳幼児健診でアンケートを実施し、御加入いただけていない理由の把握をさせていただきました。

入会されていない理由として、知らなかった及び加入の機会がなかったという回答が多かったことから、３か月健診時に個別の声かけを行い、その場で加入受付をさせていただいたり、出張型の登録相談会を行うなど、入会の機会を増やす取組みを進めており、今後も継続してまいります。

次に、子育てイベントです。

ひがしなりっ子すくすく・つながるフェアについてですが、これは幼稚園、保育園、認定こども園などの情報を広くお知らせするためのものになっております。去年の参加者は１４８世帯であり、感染対策を取った上で区役所１階ふれ愛パンジーで開催いたしました。

また、入園、入所のことが気になったときに、いつでもどなたでも情報を入手していただけるよう、Ｗｅｂ版についても東成区のホームページで公開しております。

次に、ひがしなりっ子すくすく・つながるミニ運動会です。

こちらの方は子育て世帯と子育てを支援している方とのつながり強化を目的にしているもので、昨年度、３年ぶりに開催し、６５組の御参加をいただきました。

次です。すくすく・つながるスタンプラリーについては、地域の子育てサークルや子育て支援拠点を回っていただくスタンプラリーでございます。

支援機関の積極的利用を促進することを目的として、昨年度初めて実施し、１７３組の参加をいただきました。スタンプラリーでも、すくすく・つながるクラブの周知と登録勧奨を行っており、昨年度は１１名の登録をさせていただいております。

こういった子育てイベントについては、前回の部会でも親子と地域がつながる機会の確保として御意見をいただいております。今後も継続して実施してまいりたいと思っております。

次に、情報発信でございます。

情報発信については記載のとおりの内容になっております。部会で御指摘いただいておりますとおり、広報紙のひがしなりだよりや、区のホームページに加え、ツイッ

ターなどのSNSを利用した情報発信について、今後とも継続して取り組んでまいりたいと思っております。

次です。

子育て情報誌、ひがしなり子育て安心ブックにつきましては、内容の時点修正を行いました。前回の部会でいろいろな年代の方に知ってもらった方がいいよということで御意見いただきましたので、ひがしなりだよりで作成したこと、Web版があることを周知させていただきました。

また、子育てを支援している機関への周知として、区内の保育所、幼稚園、認定こども園などの子育て支援機関へ冊子やWeb版の2次バーコードを情報提供し、保護者や園の先生が気軽に安心ブックにつながっていただけるよう、取り組んでおります。

以上でございます。

○大野部会長 ただいま区役所より、令和4年度東成区運営方針の振り返りについての説明がありました。

まず、自由な意見交換の時間として勉強会を今から15分程度行いたいと思います。勉強会の間は議事の記録はいたしませんので、各課題について、もう少し詳しく説明を聞きたいという場合や、もっとこうすれば良くなるのではという前向きな御意見をどしどし出していただきたいと思います。そして、自由な意見交換ができましたら、最後に部会としての意見を集約していきます。

それでは、ただいまより勉強会を始めます。

<部会での自由な意見交換>

冒頭に申し上げましたとおり、これから議事録の記録を再開し、部会の意見をまとめさせていただきたいと、取りまとめに移りたいと思います。

それでは、ホワイトボードの板書内容をご覧ください。

まず、教育の分野から、教育環境の整備についてです。

学校と連携強化なんですけど、ヤングケアラーとか、家庭環境に応じた連携も含めた評価を認識、引き続き連携をということで、ヤングケアラーや家庭環境についても学校としていくということでもよろしいですか、学校強化の連携としては。

○四方委員 そういったものをどこまでできるものか分かりませんが、学校としては。

○大野部会長 100%の実施アンケートですが、今まで以上にこれを少し取り上げていただけたらというふうに。

では、板書してくださっていますが、そのまま2つ目、電子書籍については、電子書籍なんですけど、4年生以下の取組みは紙の方も身近に感じる取組みを学校の方でも取り組んでいるということで、課長がおっしゃっていたように、実際は60%ぐらいということなので、そこはもう少し区役所から学校の方へ、端末をもう少し有効に使える方法を提案していただくという感じで、それを提案する形でよろしいですか。他にあとは。

○森田委員 学校がそれぞれ端末の扱いを見直していくから、また上がっていくんじゃないかという話じゃなかったでしたっけ。

○大野部会長 そうです。

○竹東副部会長 中学校の方はどうでしょうか、中学校の方の電子書籍の取扱い方については、各小学校の5年生、6年生は、先生に言われたら聞くように思うんですけども、中学生の電子書籍の取扱い方はどんな状況でしょうか。

○御栗区長 これから課題があると思うんですけど、1つは、相生中学の田村校長先生というのはものすごい図書関係をしっかりやられてきた先生なので、その先生のアドバイスなんかも聞きながら、小学校で言いますと、去年までいらっしゃった東小橋の中村校長先生が学校図書館関係の専門の方だったんですけど、その辺の御意見なんかもいただきながらしっかりやりたいというのと、もう一つ非常に注目してますの

は、中学でいくと、今の中学1年生、彼らは去年6年生の時から使ってくれていたはずなので、この子らが中学生になってどれだけ使ってくれるかというのがすごい個人的には注目してるんです。当然のことながら、中学よりも小学校の時の方が時間がいっぱいありますので、それなりに使い方であるとか、どんな本があるとか、分かってくれているはずなので、ある意味ちょっと怠けるわけじゃないんですけど、市全体でも中学1年は見るはずだというふうに期待をしているんですけど。その辺をじっくり見たいなというところと、中学校の4校の校長先生方も2年目の施策になって、自分たちの学校あんまり見てくれていないなとか、中学校もやっぱり端末の扱いがかなり学校ごとに違っていましたので、去年よりは持って帰る状況にもなりますし、あるいは東陽中学みたいに、夏休みの宿題で電子書籍の読書感想みたいな感じで宿題を与えてくれたりとか、いろんな事例は共有していつてくれていますので、そこは中学校の部分、もともと中学校の不読率を何とかしたいということで、だからやらせてもらっているんですよという校長先生には言うてるんですけど、ぜひ使ってほしいと。使えへんのやったらもうやめて、もっと違うことをやらないかなと思っていますので、そこはしっかりとやりたいというふうに思います。ありがとうございます。

○大野部会長 それでは、2つ目、電子書籍については、学校関係者への区役所からの利用の働きかけをより積極的に。

○御栗区長 そうですね、小学校も中学校もやらせてもらうということで結構。

○大野部会長 電子書籍については2年目の事業なので、もうしばらくみんなで見守っていききたいという感じでよろしいでしょうか。

3つ目の子どもたちと体験するイベントSDGsモノづくり等については。

○森田委員 これについてはもう期中で急に追加したことなので記載するしないはもういいと思うんです。

ただ、万博に向けてSDGsの方はよりしっかり子どもたちに伝えていくべきことなので、引き続きということでもいいのかなと私個人としては感じました。

○仲埜課長　　そうですね、すみません、ちょっと今日の課題ではないんですけれども、課題４の方で、３３ページ、３４ページのあたりでＳＤＧｓの視点による区民主体のまちづくりの推進というのがにぎわい・きずな部会でまとめているので、そちらの方も併せまして森田委員の言われた意見等、今後あげていけたらなと思いますので、よろしくお願いいたします。

○森田委員　　そうですね、いいと思います。

○御栗区長　　宣言制度もおかげさまでもう１００がちょっと見えてきたというところに、まだ９０っていませんけど、御相談内容とか、その辺でいきますと、いい形で増えてきてますので、ＳＤＧｓをさらに盛り上げていければなと思います。

○大野部会長　　これについてはしっかり子どもたちへ伝えていく方向で、それをうまく区役所の方に取りまとめているいただいて、子ども・教育部会から出したいと思います。

そして、おっしゃってください、どうぞ。

○森田委員　　環境のところで、木工体験のやつがあったじゃないですか、助成金が打ち切られた関係でしないということなので、今期に関しては、昨年度、それを行った分をよりしっかりやるっていう感じでいいのかなと、すみません、わざわざ言うほどのことじゃなかったです。

○大野部会長　　それでは、次は、子育てネットワークについてです。子育て支援についてです。

子育てのネットワークの構築については、内山委員がおっしゃっていたように、サークルの周知、いま以上に若いお母さん、見やすいチラシや冊子等はもしも今後、何か作る予定があったらそういうのを、手に取りやすいものを検討していただいて、それであると、サークルが始まったことをしっかり周知して行って、そして、ＱＲコードをまめにどのあれにも載せていただいたりとかいう感じで、他に何か付け足す感じはございますか。

○御栗区長　　万博に向けてのSDGsのところで行くと、まだ走り出したところなのであれですけど、委員の皆さんに少しお話しさせていただこうと思うと、やっぱり子どもたちにも参加してもらって、何かいい取り組みができへんかなということで、校長先生方に御相談をしまして、区民まつりが11月にあります。11月の終わりがちょうど万博の500日前ぐらいになってくるんですか、そのあたりでちょっとひと盛り上げしたいなということで、子どもたちに絵であるとか、作文とか、川柳とか、そういったものをちょっと募集させてもらって、区長賞とか、いろいろできへんかなというようなことも今考えさせてもらっています。

あとは幼稚園の方なんかにもお話しはしていますし、あと大人の方も参加していただいているのかな、なんて思ったりして、モノづくり企業もたくさんございますので、ぜひ自社の何か技術を活かしていただいて、ちょっとSDGsも絡めた、例えば廃材を利用されるとか、得意な分野での万博を盛り上げるような一品を何か出していただくとか、大工大の皆川先生なんかも接点がありますので、ちょっと評価していただいたりして何か盛り上げられへんかなというのは今考えているところなんですけれども。いい形で万博とか、SDGsに引っ付けて、子どもたちも入れて、区民みんなで、皆さんに参加いただいて盛り上げていきたいなというふうに思っておりますので、またいろいろ御意見いただければと思いますので、よろしくお願いします。

○大野部会長　　すみません、さっきの子育てネットワークについてなんですけど、もう少し連合の町会にポスターとかを、QRコードに付いたポスターとかを各地域に貼っていただくようにしたりとかして、意外とお散歩してたりしている地域のお母さんとか、犬の散歩してる親子とかがいたりすると思うので、歩いてる途中で絶対皆さん携帯電話を持っていると思う、いろんな冊子が自分の手元になくても歩きながら目につくところにあったらQRコードを読んでみるという方法とかもあるので、区役所からもっと連合町会、せっきく東成の町会はたくさんあるので、もっと子育てサークルのいっぱいこういうお伝えするのとかをしてもいいのかなと、すみません、思ったの

で、またそんなことも検討していただけたら。

○御栗区長　発想としてあれですけど、意外とポスターにＱＲコードって付けていないかもしれません、ひょっとしたら、あまりそんな意識。

○森田委員　ぱしゃっと撮って、後で詳しく見ようというパターンですね。いろんな情報がばさっとあると、もう面倒くさくなっちゃって、自分の興味あるところしか見たくないです。だから、見出し型の情報の提供というのがすごく今主流になっているっていうか、もうごちゃっと書いていたら逆にもう見ないと、興味ありそうなやつだけ詳しく見る入り口を用意する、それがＱＲコードやと思いますね。多分貼っているやつも道を行きながらぱしゃっと撮って後で見ようと、それにつながったらいいと思うので。

○御栗区長　そうですね。ポスター全体を写真で撮ったりとか、そんなのをやっていましたけど、逆にそこにＱＲコードを付けといたら、もうそこでぱっと行って、もうさっと見てくれるとか、そういう展開もあるのかもしれませんが、今。ありがとうございます。

○大野部会長　ぜひとも御検討をお願いします。

それでは、これをまた区役所の方で上手にまとめていただいて、これを子育て支援の課題にして、子ども・教育部会で出そうと思う、子ども・教育部会じゃなくて、出そうと思っています。

他に何か加えておきたいことがあったら、皆さん御発言ください。

なければ、以上のことを部会としての今回の報告とさせていただきます。

皆さん、円滑な議事運営に御協力いただき、ありがとうございました。

本日の議題は以上で、区役所の方に進行をお返しいたします。ありがとうございました。

○遠藤課長代理　スムーズな議事運行に御協力いただき、ありがとうございました。
本日皆様方からいただきました御意見につきましては、区政会議全体会において、大

野部会長に御報告をしていただきたいと思います。

区政会議全体会は、6月14日14時からコミ協ひがしなり区民センター2階大ホールにおきまして予定しておりますので、御出席方よろしくお願いいたします。

また、全体会で使用します資料は本日と同じものになりますので、当日お持ちいただきますよう、併せてお願いいたします。

それでは、最後にお手元にお配りしましたアンケートの記載をいただきますよう、お願いいたします。

それでは、これをもちまして終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。